

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年7月12日（金）

### 2 確認箇所

5/6号機取水路開渠（図1）

### 3 確認項目

5/6号機取水路開渠内浚渫工事の状況

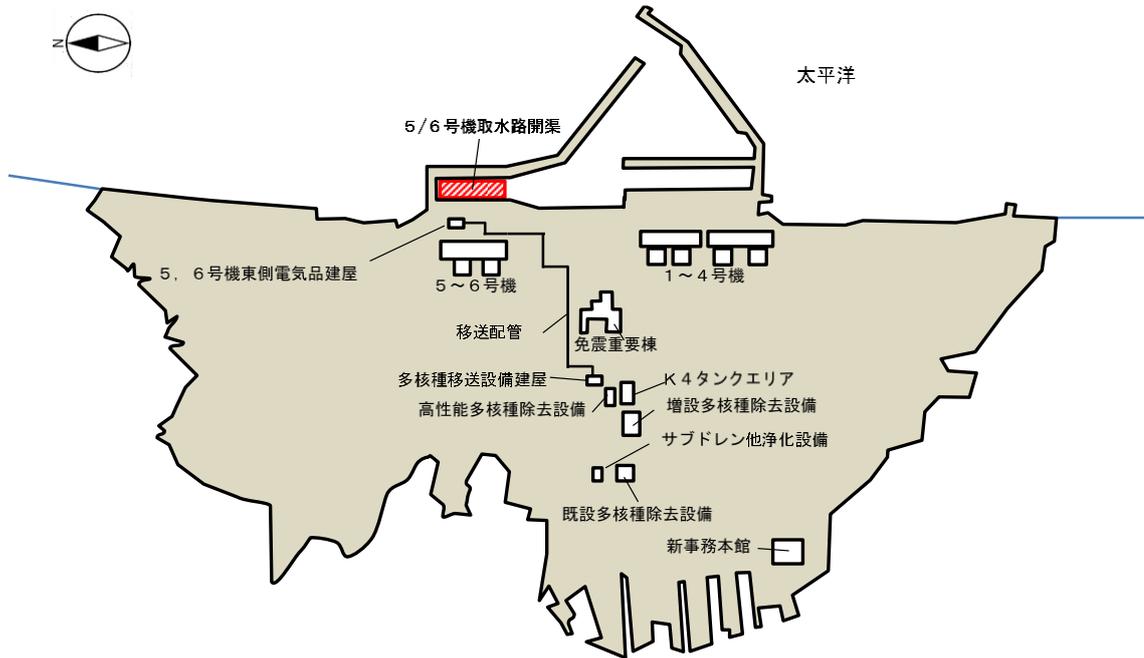
### 4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が1,500Bq/L未満となるよう、海水で大幅に希釈してから海洋に放出している。

希釈用の海水は、5/6号機取水路開渠（港湾内）から5号機取水路を通じて取水している。取水に伴い港湾外から5/6号機取水路開渠内に砂が流入し、取水に影響を及ぼす恐れがあるため、海底の堆砂状況に応じて浚渫工事を実施している。

今回は、5/6号機取水路開渠で実施されている浚渫工事の状況を確認した。（図1）

- ・5/6号機取水路開渠内北側を確認したところ、港湾外から港湾内に向かって緩やかな水の流れがあったが、砂の流入は見られなかった。（写真1）
- ・浚渫に使うバックホー2台が駐車していた。その傍に浚渫土砂が仮置きされていた。（写真2）
- ・浚渫土砂の水抜きをするためのピット（浚渫用土砂ピット）が設けられていた。（写真3）
- ・ダンプトラックに水抜きした浚渫土砂を積載する作業が行われていた。（写真4）
- ・東京電力によると、基準（表面線量率 $\gamma$ :0.01mSv/h、 $\beta$ :検出なし）を満たしていることを確認した上で、構内の土砂仮置き場に運搬・保管しているとのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

5/6号機取水路開渠の状況



(写真1-2)

5/6号機取水路開渠の状況



(写真 2)  
浚渫土砂の仮置き状況



(写真 3)  
浚渫用土砂ピットの状況



(写真 4)  
浚渫土砂積載作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。